

スポーツ 川越

発行 川越市体育協会



第28回 川越市スポーツ少年団新春マラソン大会

豊かなスポーツライフの実現を目指して

川越市体育協会副会長 白根文博

スポーツは、われわれ人間の「こころ」と「からだ」の健全な発達を促すとともに、明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある社会の形成に寄与する人類共通のすばらしい文化の一つです。

「生涯スポーツ」とは、だれでも生涯の各時期にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでもどこでもスポーツを楽しむことであり、豊かなスポーツライフを実現することは、重要な課題といえます。

川越市では、「生涯スポーツ振興計画」を策定し、地域・年齢・性別・障害の有無にかかわらず、市民の一人一人がそれぞれのライフステージをとおして、生涯にわたりスポーツを楽しむことができるように各種スポーツ・レクリエーション大会の開催、指導者の養成、スポーツ施設の整備・充実を図りながら、「生涯スポーツの実現」を目指しております。

さて、今年には、世界のスポーツの祭典であるアテネオリンピック開催の都市であります。また、国内に目を向けますと第五十九回「彩の国まごころ国体」が埼玉県で開催されます。川越市においても夏季大会（ゴルフ・サッカー）、秋季大会（少年女子バレーボール・軟式高校野球）が開催され、市民のスポーツに対する意識も高揚されると思います。ぜひ、この機会を捉えて、市民一人一人が生涯スポーツの実現に向けて大きな契機となることを期待いたします。

私も、長年スポーツを経験し、各種スポーツに携わるもの一人として大切であると思っております。それは、個々の体力や目的に応じて、様々なスポーツを様々なやり方で取り組み、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことです。そのためには、幼少期から人との関わりや遊びをとおして、様々なやり方で取り組み、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことです。

そのためには、幼少期から人との関わりや遊びをとおして、様々なスポーツを体験させたり観戦させたりして、スポーツが持っている独特の楽しさや喜びを味わわせることが重要です。

また、スポーツレクリエーションをとおして親と子が一緒にふれあい、家庭でのコミュニケーションを図ることも大切です。

二十一世紀を担う子どもたちの生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフを実現するために、その基盤づくりをすることは私たち大人の責務であります。市民活動としてのスポーツに発展するよう行政のみならず、関係団体、自治会、学校、企業などの協力のもと、取り組んでいきたいと思っております。



彩の国まごころ国体への展望



昨年、「彩の国まごころ国体競技別リハーサル大会」が開催されました。(下記参照)平成十六年、いよいよ本番の年を迎え、川越市体育協会としても気持ちを新たに、国体成功のため努力して参りたいと思います。今回は、川越市国体事務局にリハーサル大会の総括、そして国体への展望等についてお話しを伺いました。

——はじめに、競技別リハーサル大会の総括についてお聞かせください。

事務局として今後国体までの取り組み、また体育協会への要望等について伺います。

事務局 国体同様規模のリハーサル大会を避け、輸送関係と学校観戦は主に高校野球競技で、花いっぱい運動関係は主にサッカー競技でというようにメリハリをつけて、四競技を開催しました。

——具体的には、どんな点が挙げられますか。

事務局 先ずボランティアの方々が誠心誠意清掃活動や、プラント、装飾などをやってくださって大会を盛り上げて頂いたこと、また川越市体育協会の各連盟、各協会役員の方々のサポートも見逃せない点だったと思います。

——国体は競技もさることながら、開催地の人々との心の触れ合いもまた大切なことな

——国体は競技もさることながら、開催地の人々との心の触れ合いもまた大切なことな

(2) 競技役員と大会までに細部にわたって、更なるコミュニケーションを図ることが必要と考えています。



サッカー 川越運動公園陸上競技場

事務局として今後国体までの取り組み、また体育協会への要望等について伺います。

事務局 リハーサル大会を通じて、今後の取り組みのポイントが何点か明確になってきました。

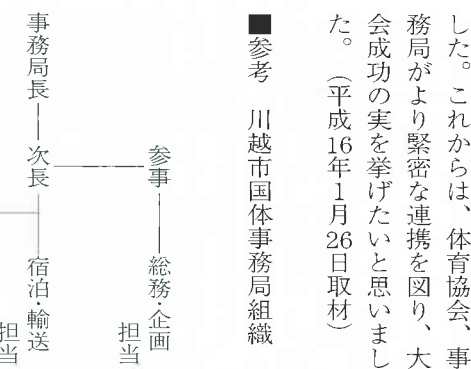
(1) 国体に、いかに多くの市民の方々に参加していただけるかという事です。現在、事務局として考えていることを具体的に挙げてみますと

- ・ 炬火リレーへの参加(正規のリレーメンバーの後ろに、多くのふれあい伴走者をつける)
- ・ 園児、児童、生徒を含む試合への応援を増やすこと。(幼稚園・小、中、高校への協力依頼)

- ・ ボランティアの方々の拡充(幅広い呼びかけ)
- ・ ボランティアの方々の拡充(幅広い呼びかけ)

(2) 競技役員と大会までに細部にわたって、更なるコミュニケーションを図ることが必要と考えています。

事務局として今後国体までの取り組み、また体育協会への要望等について伺います。



■参考 川越市国体事務局組織

した。これからは、体育協会、事務局がより緊密な連携を図り、大会成功の実を挙げたいと思いましたが。(平成16年1月26日取材)



バレーボール 川越運動公園総合体育館

ボランティアで 夢と感動いっぱい



2004年 第43回国体
彩の国まごころ国体
まごころの夢 この国体

川越市競技別リハーサル大会の実績

開催時期	競技名・会場	大会名	参加数
平成15年8月1日～4日	バレーボール 川越運動公園総合体育館	平成15年度 全日本6人制バレーボール 実業団男女優勝大会	11チーム
平成15年9月29日	ゴルフ (社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	第17回埼玉県市町村対抗 ゴルフ選手権大会	56市町村 57チーム
平成15年10月17日～22日	サッカー 川越運動公園陸上競技場	第39回全国社会人サッカー 選手権大会	32チーム
平成15年11月7日～12日	高等学校野球(軟式) 川越市初雁公園野球場	第44回秋季関東高等学校 軟式野球大会	10校

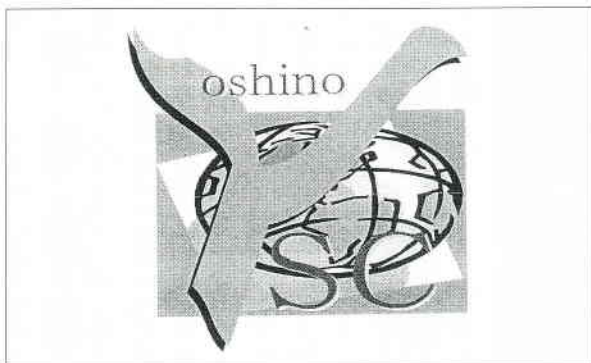
川越市における「総合型地域スポーツクラブの展開」

芳野スポーツクラブの活動報告

一 クラブ設立までの経緯

スポーツ川越第二十二号で、「総合型地域スポーツクラブ」の概要について説明しましたが、ここでは本市初の「総合型地域スポーツクラブ」である芳野スポーツクラブ設立までの経緯も含めて紹介します。

平成十三年六月、「総合型地域スポーツクラブ設立に関する説明会」を開催し、地区関係者との合意形成を図りました。平成十四年六月には、「設立委員会」を発足させ、設立に向けて



の準備を進めてまいりました。そして、平成十五年二月二十三日、設立総会を迎え、芳野スポーツクラブが誕生しました。

二 クラブの目的

本クラブは、芳野地区のスポーツ活動の振興を図るとともに、会員相互の交流を図り、会員の健全な心身の育成と明るく活気に満ちた地域社会の形成に貢献し、もって生涯スポーツの発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、

三 クラブの事業内容

スポーツ教室、クラブイベント各種スポーツ大会、研修会等を芳野小・中学校の学校体育施設を主な活動拠点として開催しました。

十五年度のスポーツ教室については、バドミントン、太極拳、グラウンドゴルフ、エアロビクスの四種目が展開されました。種目設定に当たっては、地域住民に対するアンケート調査をもとに設定し、実施したわけで



ですが、いずれの教室も二時間・六日間を基本として、子どもから高齢者まで、多くの方が参加しました。

また、平成十五年八月二十四日、芳野中学校において、地域住民を対象としたオープニングフェスティバルを開催しました。当日は約四〇〇名の参加がありました。残暑も厳しい中、各スポーツコーナーで楽しんでいました。

- 参加者の感想を紹介しますと、
- 今まで経験したことのないスポーツに挑戦することができました。
- 多くの人と一緒にスポーツをすることができました。
- 指導者の方が丁寧に教えてく



れたので気持ちよくスポーツをすることができました。という意見がありました。各種スポーツ大会は、既存のスポーツサークルが中心となりバレーボール、グラウンドゴルフなどの種目で、参加対象者については、サークル員に限定せず、広く芳野地区住民に参加を呼びかけて実施しました。本クラブの運営については、まだまだ多くの課題が山積しているのが現状ですが、地域と行政とが協働してこれらに取り組みんでいく必要があります。

野 球 連 盟



野球連盟の歴史を紐解いて見ると今から五八年前昭和二十一年創立、誕生を見ました。軟式野球は日本で生まれ、明治末期、子供の「野球遊び」に始まって、大正初めに「少年野球」として起こり、「軟式野球」として発展してきました。今や野球は国民的スポーツとして親しまれスポーツの花形とまで言われ続けてきました。競技者人口も他のスポーツを圧倒しております。また野球は小学生から高齢者まで幅広い年齢層迄楽しめるスポーツであり、川越市体育協会が推進する「生涯スポーツの振興」にまさに打って付けのスポーツでもあります。現在川越市野球連盟のチーム登録数は一二〇を数

え登録者数は二、〇〇名強になります。初雁公園野球場をメインに市民グラウンドと三面で各種大会を行っており、五月以降はナイターでのゲームを楽しめます。(初雁公園球場)新規登録したい場合は(男女問いません)一般チームとして高校生以上ならどなたでも登録できます。(他連盟との重複は不可)ご加盟をお待ちしております。さあ今年も彩の国まごころ国体、スポーツを楽しもう。

弓 道 連 盟

川越市弓道連盟は、昭和二十五年に結成され、同時に川越市体育協会に加盟した五十年以上の歴史を持つ団体で、平成十六年現在約一五〇名の会員がおります。例年実施している主な行事は、

市内高校王座決定戦、市武道大会、市民体育祭弓道の部、初雁弓道大会などの競技大会、月例射会、弓道教室、講習会、会員相互の親睦と研修を兼ねた一泊二日の合宿などがあります。

弓道教室は、川越市施設管理公社主催の一般弓道教室と、連盟主催の婦人弓道教室があり、各全十回で初心者を対象に行われます。また、一昨年から始まった初雁弓道大会は、東武東上線沿線の近



隣市町弓道連盟との親睦と射技の技術向上を兼ねた競技大会で例年一五〇名近い弓士が川越総合運動公園弓道場に集まり技を競います。(写真は昨年の大会風景)

近年「生涯スポーツ」の声がよく聞かれますが、弓道は若い方から高齢の方までそれぞれの体力・骨格に応じてできるスポーツです。インターネットホームページを開設しております。

バドミントン連盟

川越市バドミントン連盟は昭和46年に設立され、平成15年に32周

体だより
への展望



年を迎えました。現在は、14の加入団体、300名余の会員で活動しています。練習場所としては、主に市民体育館や学校の体育館を利用しています。市内における主な大会としては、9月の川越市バドミントン連盟会長杯、11月の市民体育祭、2月のクラブ対抗戦の4つがあります。平成12年からは、連盟加入団体メンバー間の交流と、競技力の向上のために、毎月1回の合同練習会を開催しています。

少 林 寺 拳 法 協 会

会員に声をかけてみてください。

川越市少林寺拳法協会は、矢島隆夫会長のもと、全九支部が、日々の厳しい修練を続けています。

少林寺拳法とは、宗道臣開祖が昭和初期、中国に渡り中国人社会に入り、特殊な仕事をする中で身に付けた拳法を、敗戦後帰国してから日本人に合うように再編成したものです。

開祖が少林寺拳法を開創した目的は、単に肉体的な強さだけを求めることではなく、「自信、勇氣、慈悲心、行動力」を身に付け、相手を思いやる心を通しての人造りによる国づくり、そして、世界平和の達成を願う行動できる人々を中心にアメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカの二十九ヶ国に伝えられ、日夜修行されています。

川越市少林寺拳法協会においても、日本人だけでなく、アジア、アメリカ、イギリスなど多くの国の人が修行していますし、逆に川越で修行し、現在ネパール、スペインなどで活躍している指導者も出ています。

また、今年の九月には、国体参加種目として少林寺拳法の部が行なわれることもあり、協会所属の

拳士達の修練も、益々熱がこもってきています。

我々川越市少林寺拳法協会は、今後とも川越市の青少年育成の一助となるべく、各支部とも努力していく所存でおります。これからもより一層の少林寺拳法への理解と本協会へのご支援ご協力をお願い致します。



バスケットボール連盟

旧制川越中のOB諸氏によって昭和26年「籠球連盟」として発足した。市民体育祭や県西部地区中学・高校大会を開催し、普及に努めた。現在はミニバスケットチームが18団体、466名、中学校43団体、1,228名、一般62団体、664名が登録され市内の体育館等で、いい汗を流し交流と親睦を



図っている。

近年、選手の技能レベルも向上し川越クラブや川越市役所チームが関東・全国大会へ出場したことは川越にとっては大きな励みとなった。さらに、川越運動公園総合体育館の完成に伴い、JBLの試合が目の前で観戦できることや、各種大会が開催できることも、技術向上の一役を担っている。

今後はミニバスケットボールの一層の普及活動や中学校における外部指導者等の活動に加えて、一般・職域・ママさんに至る幅広いバスケット愛好家の普及と発展に尽力したい。

レクリエーション協会

■社日本3B体操協会

川越グループ

ボール、ベル、ベルターの用具

特集・団
21世紀

を運動の助けとして使用しながらすべての動きを音楽に合わせて、仲間と楽しく行う健康体操です。特徴は、音楽に合わせて行う独自の器具体操、その中で

- ・若さを維持するための伸展運動(ストレッチ)
- ・生活習慣病を予防するため特に大切な全身持久力を高める運動
- ・基礎体力を維持するための筋力運動
- ・心身をリラックスさせる遊びの運動。

等を組み合わせ仲間と楽しみながら続けられるよう工夫されています。川越市の活動としては、平成7年に、川越市レクリエーション協会に団体加盟させていただき、市民体育祭、公民館、集会所等で自主教室、行政主催の講座、講習会、また学校、病院、福祉関係と多岐に亘っています。昨年は川越市レクリエーション協会より推薦をしていただき、埼玉県レクリエーション協会より優良団体として表彰していただく事が出来ました。又今年も国体の、閉会式にも参加が決まりこの大会で交流の輪が大きく広がりますよう努力して参りたいと思っております。



ターゲット・バード・ゴルフ協会(TBG協会)

一九六九年に狭い場所でもゴルフが楽しめるようにと、川口市在住の野島孝重さんが考案したスポーツです。合成樹脂の羽根付きボールをゴルフクラブで打つゴルフをミニ化した競技であるため、ゴルフプレーの経験を持つている人、ゴルフプレーの練習所でプレーをしたことがあればすぐに楽しむ事が出来るスポーツです。又ボールの特徴により方向性や飛距離が抑制され初心者の方でもすぐに出来るようになる手軽なスポーツです。近年余暇時間の増加と共に健康の維持増進を目的として生涯スポーツの必要性が見直され日常生活の中で老若男女が取り組めるスポーツへの関心が高まる中ターゲット・



バード・ゴルフの愛好者が増加しております。北は北海道から南は沖縄まで全国に普及し毎年全国大会も開催され、昨年は十一月に四国香川県で盛大に開催され今年も十月に福井県で開催されます。川越市TBG協会も教育委員会、体育協会、レクリエーション協会のご尽力により生涯スポーツの振興を目的に各地域で普及活動を推進して参りました。日本TBG協会埼玉県TBG協会に加盟し各団体と積極的に交流を図っており平成十二年五月に南部地域公共広場(砂久保)に隣接する雑木林に常設コース開設後は市民体育祭、県指導者研修大会、全国スポレク祭県選抜大会と老若男女が生涯スポーツとして交流の輪を広げながら普及活動を推進しております。

第五十六回市民体育祭

■総合開会式

8月10日(日)川越市市民体育館を会場に、第59回国民体育大会開催記念第56回市民体育祭総合開会式が開催されました。

三十団体、三三六名の参加のもと、力強い入場行進が行われました。

舟橋市長の挨拶に続いて、参加者を代表して小川雅利さんによる選手宣誓が行われました。

■市民体育祭・町内体育祭

スポーツの秋、九月から十一月にかけて、各地区で小・中学校の校庭を会場として実施されました。

- ・実施自治会 一八七自治会
- ・会場数 二七会場
- ・参加者数 二六、三九九名



第59回国民体育大会開催記念 第56回市民体育祭参加者

	参 加 者					合 計
	少年・少女	青 年	婦 人	壮 年	その他	
野 球 連 盟		293				293
卓 球 連 盟	4	40	144	100	48	336
ソフトテニス連盟	57	20	70	18	6	171
バレーボール連盟	100		35	13	10	158
バスケットボール連盟	812	618				1,430
サッカー協会	968	657				1,625
柔 道 連 盟	275	63	50	36		424
剣 道 連 盟	93	51	11	24	2	181
弓 道 連 盟	145	20	25	15	12	217
空 手 道 連 盟	156	6	7	18		187
陸上競技協会	520	20	1	4		545
水 泳 協 会	871	154	92	88	23	1,228
ス キ ー 連 盟	13	6	14	51	3	87
クレール射撃協会				11	23	34
ライフル射撃協会			1	9	4	14
スケート連盟	15	1		4		20
体 操 連 盟	53				30	83
小 体 連	840					840
中 体 連	5,059					5,059
高 体 連	2,300					2,300
レクリエーション協会	51	33	586	109	194	973
バドミントン連盟		64	78	42	8	192
少林寺拳法協会	176	48				224
ソフトボール協会		206	117	2,351	820	3,494
テ ニ ス 協 会	66	1,146		237		1,449
ボウリング連盟	18	12	16	16	6	68
なぎなた連盟	4	2	43			49
ラグビーフットボール協会	240	42		50	3	335
ゲートボール連盟			118	3	96	217
グラウンドゴルフ協会			298	30	421	749
合 計	12,836	3,502	1,706	3,229	1,709	22,982

少年少女=小・中・高校生 青年=30歳未満 壮年=30~60歳 その他=61歳以上



なぎなた



ゲートボール



卓 球



ラグビー フットボール



ソフトボール



親子仲良くもうすぐゴール!

本大会は、「正しく・美しく・速く歩こう」をテーマに毎年開催されてきたが、昨年の市制施行八十周年を機に、名称も「小江戸川越ウォーキングフェスティバル」と改められた。今年は天候に恵ま

種 目	参加人数
一 般10km	201名
中 学 生10km	115名
一 般 5 km	307名
中 学 生 5 km	144名
小 学 生 5 km	199名
親 子 5 km	323名
合 計	1,289名

■ 期 日 平成十五年十一月三日(祝)
 ■ 会 場 川越運動公園周辺コース
 ■ 種 目・参加人数

第五十九回国民体育大会開催記念
小江戸川越ウォーキングフェスティバル
 (第十二回川越ウォークソン大会)

れなかったが、参加者は多少の寒さや雨は何のその、元気いっぱいウォーキングを楽しんだ。例年通り、十二名の判定員の審査により各種目十名ずつ(親子は十組)にスタイル賞が授与された。また、八十歳以上の十一名にシルバー賞、県外からの参加者二十四名に遠来賞が授与された。閉会式は雨を避け、テントとメ

インスタンド雨天走路での開催となり、やや窮屈ではあったが、かえって参加者の間に一体感が生まれ、特に抽選会は例年ない盛り上がりを見せた。この機会にもっと気軽にスポーツに親しんでもらうことを目的に、



閉会式風景



ふれあいコーナー(インディアカ)

健康の維持や体力の向上への願いから、歩くことに対する人々の関心は高まっている折りでもあり、ウォーキングをしながら更に付加的にいろいろな事が楽しめる魅力ある内容やイベントを盛り込むなど、参加者の増加策の検討が今後の課題と考えられる。

従来から芝生の自由広場を利用して「ふれあいコーナー」を設置してきた。今回はさらに充実を図るべく、コーナー数も増やしたところ、六百三十名余のふれあいコーナー参加者があり成果が得られた。大会全体を振り返って、五キロ親子の部の参加がかなり多く、親子のふれあいの場としての要望が高いことをうかがわせる。しかし参加者の総数が、昨年よりもやや減少したのは残念である。

川越市スポーツ教室

No.	教 室 名	平成15年度参加者	平成14年度参加者	会 場
1	一般対象種目 ゴルフ	Aコース	15名	プロスパー(上戸)
2		Bコース	15名	
3		Cコース	15名	
4		Dコース	15名	
5	フットサル	30名	23名	総合体育館
6	ソフトバレーボール	14名	実施せず	市民体育館
7	スポーツ吹き矢	17名	実施せず	勤労青少年ホーム
小 計		121名	83名	
8	障害者対象種目・グラウンドゴルフ	23名	15名	運動公園自由広場
小 計		23名	15名	
9	女性対象種目 バドミントン	28名	24名	市民体育館
10	スイミング	11名	31名	川越スイミングスクール
11	卓 球	53名	42名	市民体育館
小 計		92名	97名	
12	ジュニア対象種目 スイミング	42名	37名	仙波小学校
13	ス キ ー	98名	120名	草津国際スキー場
小 計		140名	157名	
14	ジュニア一般対象種目 スケート	1 期	79名	東武川越スケートセンター
15		2 期	109名	
16	卓 球	50名	31名	市民体育館
小 計		238名	165名	
17	親子対象種目 わくわく親子体操	38名	57名	市民体育館
小 計		38名	57名	
合 計		652名	574名	

第11回スポーツ指導者養成 講習会

第一日目	期日	10月22日(水) 午後7時~9時
	内容	「応急処置」(固定法、三角布法)
	講師	川越地区消防組合職員7名
第二日目	期日	10月29日(水) 午後7時~9時
	内容	「普通救命講習 I」
第三日目	期日	11月5日(水) 午後7時~9時
	内容	「普通救命講習 II」
第四日目	期日	11月12日(水) 午後7時~9時
	内容	「応急処置」(搬送法)、事例研究
	講師	川越地区消防組合職員7名

参加者延べ175名、第2・3日の全課程修了者には川越地区消防組合から普通救命講習終了証を授与(41名)

体育功労者 優秀選手表彰式

期日 平成十六年二月八日
会場 やまぶき会館中ホール
今年度も、大勢の体育功労者・
優秀選手が表彰されました。



〔体育功労者〕
岩田ハルヨ氏 (卓球連盟)
中村多寿子氏 (レクリエーション
協会)

横川 年子氏 (バドミントン連盟)
佐藤美枝子氏 (ボウリング連盟)
石井 紀男氏 (グラウンドゴルフ
協会)

〔優秀選手賞〕
二五部門 三六八名

スポーツ講演会

期日 平成十六年二月八日
会場 やまぶき会館中ホール

東京オリンピック女子バレーボ
ール金メダリストの中村昌枝 (旧
姓河西) 氏をお迎えして、「私と
バレーボール 人生・スポーツ・
そして家庭」と題してご講演をい
ただきました。

中村氏が教えてくださったこと
は「誰でもやればできる」という
ことです。バレーボールの練習は
過酷で何度もやめようと思ったそ
うです。しかし、「あきらめたら
おしまい」「バレーボールが好き
という気持ちは誰にも負けない」
「これ以上できないということ
までやるう」と自分に言い聞かせ
どんな練習にも耐えたそうです。
見せていただいた金メダルは、
ずしりと重く、自分自身に打ち克
つた結晶であると感じられました。



中村昌枝氏

活躍する選手たち

ソフトボール
星野高校ソフトボール部
顧問 渡辺 努



星野高校ソフト
ボール部は3
学年で52名の部
員で活動してい
ます。そして、
専用グラウンド、
照明設備、雨天
練習場等、恵ま
れた環境の中で
練習しています。
平成16年度は全
国高校総体二連
覇・国体三連覇 (星野高校主体)

が達成でき、充実した一年となり
ました。また、中国・南京で行わ
れた世界ジュニア選手権に本校か
ら3名の選手が選ばれ、優勝に大
きく貢献してくれました。また、
坂本直子選手 (本校三年生) が高
校生としては初の全日本候補選手
に選ばれ、現在アテネオリンピック
クに向けて全日本チームの合宿に
参加しています。こうした結果が
残せたのも学校の理解と、たくさ
んの人の協力のお陰です。そして
生徒達は学校方針でもある文武両
道を目指し、短い練習時間の中
で効率よく、どこよりも集中した練

習をしています。ソフトボールは
意外性の多いスポーツですから
勝つこともあれば、負けるこ
ともあります。ですから決して
背伸びをせず、自分達の置かれた
環境の中でベストを尽くすこと、
そして部員全員で喜んだり悲しん
だり出来るのが今の時代にあっ
て本当に幸せなことだと感じ、日々
の指導にあたっています。

川越市バドミントン連盟
川越美羽クラブ加藤悦子さん



●今年度大会成績 第二十一回全
日本レディースバドミントン選手
権大会都道府県対抗の部準優勝
●バドミントンの魅力は 年齢に
関係なく手軽にできる面と、緩急
を使った駆け引きや、スマッシュ
を決める時の爽快感などの、競技
としての面を併せ持つところ。
●練習日は 火・金曜日の午前中
に、芳野台のサンライフ川越で。
●練習方法は 短時間でも集中す
るように心がけている。
●目標と抱負 これからも、長く
楽しく続けていきたい。また、川
越市は家庭婦人プレーヤーが少な
いので、もっと多くの人に参加し

て欲しい。
●やっつけて良かったこと バド
ミントンを通じて、全国各地に友
達が出来たこと。

川越市卓球連盟 牧野保代
卓球歴40年。現
在B級指導員・三
級審判員。身障者
知的障害者、高齢
者、女性卓球の練
習に携わっている。
この人達が孤独に
ならないよう、卓
球を通して友人の輪を広げてほしい。
そんな気持ちでボランティア指導
を続けている。
私自身は初めてブロック優勝。
スターがいなくても優勝できた喜
びは大きかった。また、チャンスが
あって二年連続で全日本クラブ選
手権に参加。有意義な大会だった。
一方、ラージボールの良さは、
レベルに関係なく全国大会に参加
できること。

今、60歳にして、憧れの山中教
子先生のアープロ理論の卓球の指
導を受ける機会を得る。相手と調
和しながら80歳までやれる「楽し
く、美しく、リズムカルな卓球」
を目指し、熱くなっている。

編集後記

寄稿いただいた団体に感謝いたしま
す。今後のご発展をお祈りします。